

## 2年言語の習得 (MYP3 Language Acquisition) 【外国語：4単位】

### 科目のねらい

MYP言語習得の指導と学習のねらいは、以下を達成することです。

- ・ 母語と自己の文化的遺産を維持しながら、付加言語に習熟する。
- ・ 多様な言語と文化的遺産に対する敬意と理解を身につける。
- ・ さらなる言語学習、また学習、就労、余暇などさまざまな実際の場面や、多様な受け手と目的に対応するために必要なコミュニケーションスキルを身につける。
- ・ マルチメディアやさまざまなコミュニケーションの伝達様式などの幅広い学習ツールを使用してマルチリテラシーのスキルを身につける。
- ・ さまざまな文学テキストおよび非文学テキストを鑑賞できるようになり、批判的かつ創造的な方法で意味の構築と解釈ができるようになる。
- ・ 思考、振り返り、自己表現、および他の科目の学習のための原動力として言語を認識、活用し、読み書きの能力を向上させるツールとしても活用できるようになる。
- ・ 言語の本質と、言語的、文化的、社会的要素から成る言語学習のプロセスを理解することができるようになる。
- ・ 言語が使用されているコミュニティの文化的特徴を理解できるようになる。
- ・ 自己の文化や異なる文化をもつ人のものの見方への意識と理解を養うことで、自己やその他のコミュニティへの参加と行動につながる。
- ・ 言語学習への興味、探究、および生涯にわたる関心、また言語の習得における喜びを養う。

### 目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：聞くこと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
B：読むこと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
C：話すこと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. 明確な発音と抑揚を用いてわかりやすく話せる。
	iv. 必要なすべての情報を明確かつ効果的に伝達できる。
D：書くこと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. さまざまなシンプルおよび少し複雑な接続表現を使用して、的確な形式で効果的にわかりやすく情報を整理できる。
	iv. 文脈に合うように、受け手と目的をはっきりと意識したうえで、必要なすべての情報を伝達できる。

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Language Acquisition Guide」に基づいています

### 関連概念（言語習得の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）第1～第2段階

1-2	受け手	形式	メッセージ	目的	文脈	機能
	パターン	構造	表現技法	意味	発音	言葉の選択
3-4	受け手	機能	視点	文脈	イディオム	目的
	表現技法	意味	構造	共感	メッセージ	言葉の選択
4-5	主張	共感	目的	受け手	イディオム	スタイル選択
	偏見	推測	テーマ	文脈	視点	ヴォイス

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. 文化 2. アイデンティティと関係性 3. リサーチスキル・自己管理スキル	Topic『他国と自国の学校生活について考える』 学習指導要領との関連性【2内容（知識及び技能）より】 ウ語、連語及び慣用表現（ア）単語（主に学校紹介に関わるもの、助動詞 can, should, have to, need to）エ文、文構造及び文法事項（ア）文 b 助動詞で始まる疑問文 d 疑問文のうち疑問詞で始まるもの（イ）文構造 e その他（a）There+be 動詞～（ウ）文法事項 c 助動詞 e 動詞の時制や相など 現在進行形・過去進行形	「読むこと」【B】 テキストの理解を示し、作者の考えに反応する 「話すこと」【C】 学校生活に関する会話をする 「書くこと」【D】 外国人生徒への手紙を書く	1. ①知識・技能-B ②思考・判断・表現-D ③主体的に学習に取り組む態度-C 2. C-10
	2	1. コミュニケーション 2. 個人的表現と文化的表現 3. コミュニケーションスキル・思考スキル	Topic『クラス調査』 学習指導要領との関連性【2内容（知識及び技能）より】 ウ語、連語及び慣用表現（ア）単語（主に物を紹介することに関わるもの）エ文、文構造及び文法事項（ア）文 b 助動詞で始まる疑問文 d 疑問文のうち疑問詞で始まるもの（イ）文構造 c [主語+動詞+間接目的語+直接目的語] e その他（a）It+be 動詞+～（+for～）+to 不定詞（ウ） b 接続詞 f 形容詞や副詞を用いた比較表現	「聞くこと」【A】 プレゼンを聞いて、内容とスピーカーの考えや目的の理解を示す。そして個人的な意見を述べる 「話すこと」【C】 グループで行った調査結果を効果的に発表する。聞き手を意識し、プレゼン表現やテクニークを積極的に活用する。	1. ①知識・技能-A ③主体的に学習に取り組む態度-C 2. C-16
後期 (10月～3月)	3	1. つながり 2. 空間的、時間的位置づけ 3. リサーチスキル・コミュニケーションスキル	Topic『海外旅行について考える』 学習指導要領との関連性【2内容（知識及び技能）より】ウ語、連語及び慣用表現（ア）単語（主に海外生活や海外旅行に関わるもの、比較・最上級を表す形容詞・副詞、仮定を表す接続表現等）エ文、文構造及び文法事項（ア）文 b 助動詞で始まる疑問文 d 疑問文のうち疑問詞で始まるもの（イ）文構造 d [主語+動詞+目的語+補語] e その他（c）主語+tell, want 等+目的語+to 不定詞（ウ）文法事項 b 接続詞 j 受け身	「読むこと」【B】 海外旅行関連のテキストを理解して、自分の考えを示す 「書くこと」【D】 単元のテーマに関連したよく構成されたエッセイを書く	1. ①知識・技能-D ②思考・判断・表現-B 2. B-9
	4	1. つながり 2. 個人的表現と文化的表現 3. リサーチスキル・思考スキル	Topic『食と文化』学習指導要領との関連性【2内容（知識及び技能）より】ウ語、連語及び慣用表現（ア）単語（主に祭事に関わるもの、動詞の ing 形、動詞の過去分詞形）エ文、文構造及び文法事項（ア）文 b 助動詞で始まる疑問文 d 疑問文のうち疑問詞で始まるもの（イ）文構造 a 主語+動詞+補語（ウ）文法事項 g to 不定詞 j 受け身	「聞くこと」【A】 音声テキストを聞いて、作者の考えや目的の理解を示す。そして個人的な意見を述べる	1. ②思考・判断・表現-A 2. C-17